

株式会社ジェイコム千葉 東葛・葛飾局

2020年度放送番組審議会 議事録

<放送番組審議会委員>

入江和彦様 小林俊樹様 志賀進一様
須田昌彦様 染谷光雄様 長江曜子様

(50音順)

2020年度の放送番組審議会は、昨年同様に新型コロナウイルスの感染拡大を防止の観点から、番組審議会委員と事業者の対面での審議は実施せず、事業者側より放送番組審議会委員に対して書面をもって現況報告および J:COM チャンネルの取り組み、放送実績についての報告を行い、審議委員より書面にて J:COM チャンネルに対する意見、要望を受取りました。

意見書の集約および回答については、株式会社ジェイコム千葉 東葛・葛飾局および、番組制作担当部署株式会社ジェイコム千葉 地域コミュニケーション統括部より、意見の拝受および内容の検討・審議の結果について、ご回答させていただきます。

<回答者>

株式会社ジェイコム千葉 東葛・葛飾局

局長	佐藤 浩
地域プロデューサー	会田直樹
制作:地域コミュニケーション統括部長	西井俊介
制作:習志野事務所 制作チーム長	折田康男

1、番組について

■「つながる News 東葛版」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

近隣市町村の行政で実施されている施策等も知ることができ、地域での話題がそれぞれ比較できてよいと感じる。地元のスポーツチームの情報はなかなか地上波ではやらないのでありがたい。

司会の二人をアップでずっと映しているのはどうかなと思った。もう少し引いても良いと思う。取材制限によって、動画の撮影等が十分でなかったと思うので、今後の取材方法等を検討して欲しい。

（事業者）

数年に渡って精査・継続してきた番組を、新型コロナウイルス感染防止対策に対応するため、制作手法を変えて番組作りを行いました。司会者やスタッフはもちろんですが、取材先に対しても、三密回避などの感染防止対策を徹底しました。このため、画面構成・取材手法についてご指摘を頂きましたが、取り上げる内容に関しては、多岐にわたった内容をお届けできたと感じており、今後の情勢を鑑みながら、番組の制作を進めていきたいと考えております。

■「つながる News 葛飾版」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

コロナ禍において地域コミュニティーの担い手として活躍している商店街の若手経営者や、新しい事業形態に取り組んでいる人など、裏方で貢献している人にもスポットを当てて欲しい。コロナ禍の取材制限がある中で、地域の取り組みや自治体、警察などの情報を放送できたことは良かったのではないかと思う。

商店会の会長インタビューに興味関心をもったが、番組テーマと合致する内容なのか疑問。行政からの情報をもう少し楽しく伝える努力がほしい。

（事業者）

新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに則り、三密回避などの感染防止対策を徹底しながら、番組制作を行ったため、委員の皆様からのご意見通り、制作現場の試行錯誤がありました。インタビュー取材に関しては、賛否の両面からご意見頂きましたので、視聴者の方の視点を意識しながら、インタビュー手法・構成などを熟考していきます。

■「カツシカデシカ」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

エッセンシャルワーカーとして働いている医療従事者を応援すべく、防護服や、シールドの作製に携わる中小企業の事業主を取り上げていたが、地域の事業経営者の情熱が感じられる番組となっていた。コロナの影響を強く受けている飲食店を応援する企画等を継続して放送して欲しい。直接 MC が現場に行き取材できたことは良かったと思う。また内容もタイムリーだった。内山君の元気な姿を見て一安心でした。コロナに負けない連携、人のつながりが感じられる。

（事業者）

番組進行の内山信二さんへの温かいご意見が多く、地元出身者で葛飾区を盛り上げようと尽力している方をキャスティングする事の重要性を改めて感じました。また、今回は時節にあった話題を、内山さんが現場にいて紹介する。というキャスティングと番組内容の好循環も企画立案で意識できた内容だったため、今後の番組制作の中での好事例として受け止めてまいります。

■「東葛一直線」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

コロナにより、リモートでの取材になり臨場感がないが。制作の工夫や難しさが垣間見えて面白かった。取材先の建物や歴史の紹介だけでなく、周辺の状況説明や一般の人の意見・感想などを入れても良いかと思う。

コロナで巣ごもり状況ですので、逆に視聴者も一緒に歩いているような味わいがあり、コンパスのお二人のキャラクターが明るくてとても良い。

（事業者）

リモート取材に関しては、手法や内容による取捨選択が、未だ確立できていないと感じております。但し、今後も新たな番組制作の手段として、取り入れていく必要性を認識しておりますので、今回頂いたご意見を真摯に受け止め今後活かしてまいります。

■「ねづっち散歩 X」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

コロナの影響でリモートでの紹介となっていて、MC(ねづっち)の良さが感じられなかった。難しいケースもあると思うが、散歩しているような雰囲気を楽しめるようにした方が良いと感じる。

（事業者）

前項の「東葛一直線」と同じく、リモート取材で如何に出演者の良さを引き出だすかが課題として真摯に受け止めます。また、リモート取材に関し、常にベストな演出とは何かを考えながら、制作に邁進してまいります。

■「東葛人図鑑」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

現状は、リモートでの紹介となっているが、東葛地域出身で地域外でも活躍している方や海外で活躍している人などもリモートでの取材に対応してもらえないのではないかと感じる。対談番組なのでお互い正面の映像は違和感がある。しゃべりばかりなので、もう少し話題の関連映像や動画を入れると良いのではと思う。3つのテーマで展開しているので、大変わかりやすく聞きやすい。

（事業者）

対談番組のため、リモート収録が適切であったか。再度検証の必要があると感じました。番組の内容に関しては、トミドコロさんの人柄や、出演者の人選、また、放送回ごとの内容検討の必要性などご指摘もありましたので、企画・制作に関して熟考してまいります。

■「防災広報かつしか」へのご意見、ご要望

（委員からの主な意見・指摘事項）

一般市民の方に参考になる防災知識だけでなく、コロナ対応のBCP計画を策定している企業の取組やSNSを利用した非常時の連絡方法についても取り上げて欲しい。東葛の防災情報も同様に放送できたら良いのではと思う。ペットの飼い主にとってはとても重要な情報。東日本の災害時も問題になったので関心を持って拝見できた。「ペットも家族」というキーワードがよく、番組の中で実物やショップの情報が分かりやすく編集されていた。

(事業者)

防災広報かつしかは、毎回、社会情勢や市民目線での疑問などを熟考しながらテーマを決めて制作にあたっております。15分という時間制約の中でどのように簡潔に伝わるかという課題の中で、切り捨てるものもありますが、SNSやアプリ連動などでの情報の補完なども視野に入れていきたいと思っております。

■自由回答 上記以外のご感想、ご意見など記載ください

(委員からの主な意見・指摘事項)

コロナ禍のためにリモート取材が多いが制作サイドの頑張りが伺える。

地元密着した番組、そしてこんな番組を放送しているとの拡散が必要だと感じる。防災広報葛飾のような番組が、一昨年の台風の時のような災害時に、どのように反映されるか期待している。

地域の行政・自治体情報がどうしても、表現がかたく、冷たいイメージになってしまう。もう少し「話し言葉」を前面に出して語りかけてほしい。高齢者対象の番組、子育て支援番組等の充実を望む。コロナ禍でますます地域の「どろーかる」情報が必要だと感じる。

(事業者)

コロナの影響での番組制作に制限が加わっている渦中ではありますが、その対応や制作スタッフの努力に関して、ご意見頂き誠にありがとうございました。一方で、地元密着のエリアの定義や、情報の拡散手法など、複数の自治体を対象に番組制作を行っているJ:COMとしての課題もご指摘がありました。限られた人的リソースの中で、最大限の番組制作・チャンネル運営を行うためにも、審議員の皆様のご意見をもとに、視聴者＝区民・市民の皆様のニーズを捉えながら、今後も番組制作に邁進して参ります。

以 上